

## 平成29年糸島市議会9月定例会提出議案について

- ☆ 9月1日から開会予定の糸島市議会9月定例会に付議する議案を、本日送付いたしました。
- ☆ 案件といたしましては、議案第53号「糸島市附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例について」から議案第73号「平成28年度下水道事業会計決算の認定について」までの21議案のほか、報告3件を提案させていただくこととしております。

### ※提出議案 21件

#### ◇ 条例議案 [2件]

#### 【一部改正条例2件】

糸島市附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例について

糸島市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例について

#### ◇ その他の議案 [4件]

新市基本計画の変更について

訴えの提起について

工事請負契約の締結について(加布里小学校校舎大規模改造工事)

市道路線の認定について

#### ◇ 補正予算 [5件]

平成29年度糸島市一般会計補正予算(第2号)

平成29年度糸島市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)

平成29年度糸島市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)

平成29年度糸島市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

平成29年度糸島市水道事業会計補正予算(第1号)

#### ◇ 平成28年度決算認定 [10件]

### ※報告 3件

◇ 平成28年度糸島市継続費精算報告書について

◇ 平成28年度決算に基づく糸島市財政健全化判断比率及び資金不足比率について

◇ 議会の委任による専決処分について(市が管理する道路のシート式視覚障害者誘導用ブロックの剥離による歩行者転倒事故の損害賠償及び和解)

- ☆ 議案の内容といたしましては、

#### ● 条例議案(2件)

[一部改正(2件)]

【財政課】

議案第53号 糸島市附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例について

- ※ 糸島市公共施設マネジメント検証委員会を附属機関として設置するため、条例を改正するもの。

【都市計画課】

議案第54号 糸島市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例について

- ※ 都市計画法に基づき決定された「志登布田地区地区計画」の内容を条例に反映させることにより、地区計画の目標に即した適正かつ合理的な土地利用を図るため、条例を改正するもの。

●その他の議案（4件）

【経営戦略課】

議案第55号 新市基本計画の変更について

- ※ 新市基本計画を変更するに当たり、市町村の合併の特例に関する法律第6条第6項の規定により、議会の議決を求めるもの。

【人権・男女共同参画推進課】

議案第56号 訴えの提起について

- ※ 住宅新築資金等貸付金の債務者に対して、貸付金等請求訴訟を提起するため、議会の議決を求めるもの。

【教育総務課】

議案第57号 工事請負契約の締結について（加布里小学校校舎大規模改造工事）

- ※ 加布里小学校校舎大規模改造工事を施工するため、工事請負契約を締結するに当たり、議会の議決を求めるもの。

契約金額 2億3,526万629円

契約の相手方 松吉建設株式会社

【建設課】

議案第58号 市道路線の認定について

- ※ 市道路線（2路線）を認定するため、議会の議決を求めるもの。

●平成29年度補正予算（5件）

【財政課】

議案第59号 平成29年度糸島市一般会計補正予算（第2号）

- ※ 今回の補正：10億8,674万4千円を追加し、予算総額355億5,804万8千円とする。

【別途財政課作成資料あり】

【国保年金課】

議案第60号 平成29年度糸島市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）

※ 今回の補正：5億8千円を追加し、予算総額166億5,097万4千円とする。

【介護・高齢者支援課】

議案第61号 平成29年度糸島市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）

※ 今回の補正：2億5,853万4千円を追加し、予算総額84億3,901万1千円とする。

【国保年金課】

議案第62号 平成29年度糸島市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

※ 今回の補正：1,202万3千円を追加し、予算総額12億9,766万9千円とする。

【業務課】

議案第63号 平成29年度糸島市水道事業会計補正予算（第1号）

※ 今回の補正：主要な建設改良事業の既決予定額の補正等

●平成28年度決算認定（10件）

※ 地方自治法第233条第3項の規定により、監査委員の意見を付けて議会の認定に付するもの。＜8件＞

【財政課】

議案第64号 平成28年度糸島市一般会計歳入歳出決算の認定について

【人権・男女共同参画推進課】

議案第65号 平成28年度糸島市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について

【国保年金課】

議案第66号 平成28年度糸島市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について

【介護・高齢者支援課】

議案第67号 平成28年度糸島市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について

【国保年金課】

議案第68号 平成28年度糸島市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

【地域振興課】

議案第69号 平成28年度糸島市渡船事業特別会計歳入歳出決算の認定について

【農林水産課】

議案第70号 平成28年度糸島市二丈福吉財産区特別会計歳入歳出決算の認定について

【農林水産課】

議案第71号 平成28年度糸島市二丈一貴山財産区特別会計歳入歳出決算の認定について

※ 地方公営企業法第30条第4項の規定により、監査委員の意見を付けて議会の認定に付するもの。＜2件＞

【業務課】

議案第72号 平成28年度糸島市水道事業会計決算の認定について

【業務課】

議案第73号 平成28年度糸島市下水道事業会計決算の認定について

●報告（3件）

【財政課】

報告第10号 平成28年度糸島市継続費精算報告書について

※ 継続費に係る継続年度が終了したので、地方自治法施行令第145条第2項の規定により、議会に報告するもの。

【財政課】

報告第11号 平成28年度決算に基づく糸島市財政健全化判断比率及び資金不足比率について

※ 平成28年度決算に基づく糸島市財政健全化判断比率及び資金不足比率を算定したので、地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項及び同法第22条第1項の規定により、議会に報告するもの。

【建設課】

報告第12号 議会の委任による専決処分について（市が管理する道路のシート式視覚障害者誘導用ブロックの剥離による歩行者転倒事故の損害賠償及び和解）

※ 市が管理する道路のシート式視覚障害者誘導用ブロックの剥離による歩行者転倒事故の損害賠償及び和解について、地方自治法第180条第1項の規定により専決処分をしたので、同条第2項の規定により、議会に報告するもの。

[事故の概要]

市が管理する道路を相手方がランニング中、剥離したシート式視覚障害者誘導用ブロックを踏んだ際、シートごと滑って転倒し、相手方が腰を強打し負傷した事故

過失割合 市 100% 相手方 0% 損害賠償額 261,940円

◆問合せ先

総務部 総務課 （担当：小金丸）

TEL 323-1111（代表） 内線1210

332-2100（直通）

# 平成29年度9月補正予算の概要

## ■一般会計補正予算（第2号）

補正額 10億8,674万4千円の追加  
補正後予算総額 355億5,804万8千円

今回の補正予算は、国県等の事業採択に伴う事業及び当初予算編成後に生じた事務事業等にかかる予算を追加計上しています。  
財源は、国・県からの補助金等の特定財源及び一般財源で対応しています。

### 【歳入】 （ ）は、所管課

◆ P12 地方特例交付金 1,078万円

個人住民税における住宅借入金等特別税額控除の実施に伴う地方公共団体の減収を補填する交付金の額が、当初予算額（53,232千円）より増額で決定しました。（財政課）

◆ P16 財産収入 3,651万円

平成29年3月に解散した第三セクター「株式会社リフレッシュ二丈」に出資していた出資金返還金及び平成28年度出資配当金を財産収入として計上します。（健康づくり課）

◆ P18 財政調整基金繰入金 ▲1億6,800万円

前年度の繰越金が出たため、当初予定していた基金取り崩し額（4億9,300万円）の一部を減額します。9月補正後の財調基金残高見込額は、54億6,740万円（前年度末残高比4億5,330万円増）となります。（財政課）

◆ P18 繰越金 11億5,560万円

平成28年度決算剰余金17億9,185万4千円から平成29年度へ繰り越すべき財源4億8,625万3千円を除いた実質収支額13億560万1千円から当初予算で計上済みの1億5,000万円を除いた額です。（財政課）

## 【歳出】

### 2款 総務費

◆ P22 H29年九州北部豪雨被災地支援事業 297万円

本年7月の豪雨で被災した朝倉市へ職員を派遣し、災害復旧業務の支援を行います。  
(総務課)

◆ P24 戸籍住民基本台帳管理事業 (10/10国庫補助) 1,955万円

女性活躍推進等に対応したマイナンバーカード等の記載事項の充実を図るため、住民票やマイナンバーカードに旧姓を併記できるように、既存の住民基本台帳システムを改修します。(市民課)

### 3款 民生費

◆ P26 我が事・丸ごと地域づくり推進事業 (3/4国庫補助) 656万円

地域共生社会実現に向け、住民が主体的に地域課題を把握して、解決する体制づくりと市の福祉総合相談窓口づくりが必要となっています。

まずは、準備段階として、市民アンケート調査やワークショップの開催などを市社会福祉協議会へ委託し、地域の現状把握と課題抽出を行い、地域福祉計画(H31～H35)の基礎資料に活用します。なおモデル事業として県内では5市町が取り組みます。  
(福祉支援課)

◆ P26 在宅医療推進事業 (在宅老人福祉費；10/10県費補助) 603万円

H27年介護保険法改正に係る地域支援事業のモデル的な取組みとして、在宅医療・介護連携コーディネーター育成研修会や認知症早期スクリーニングに係る事業、市民啓発事業等を県補助金を活用して実施します。  
(介護・高齢者支援課)

### 6款 農林水産業費

◆ P34 活力ある高収益型園芸産地育成事業 (県単独補助) 5,331万円

園芸農業の生産性を増大させるため、先進技術の導入や省力機械・施設等の整備を進め、収益性の高い園芸産地を育成することを目的とした県単独補助制度です。農家のニーズが多く、当初予算から増額するものです。  
(農業振興課)

◆ P36 漁港機能増進事業 (1/2国庫補助) 2,480万円

岐志漁港及び船越漁港の老朽化した照明設備(水銀灯具)を、国庫支出金や地元分担金等を財源として長寿命で高輝度・低電力消費のLED照明に切り替えます。  
(農林水産課)

## 9款 消防費

### ◆P40 地域防災支援システム構築事業（地域防災対策費10/10国庫補助）1,604万円

平常時における災害予防や自治体内部業務の効率化、地域住民との情報共有手段として、九州大学や民間企業等と産官学協働により構築された「G空間地域防災システム」に改良を加え、糸島市に導入し「地域IoT実装推進ロードマップ」の実現に向けた取組みを行います。

事業完了後は、①G空間（位置空間）情報技術を活用し、災害対策本部の意思決定の高度化・迅速化、②平常時からの他自治体や地域住民との情報共有、③多種多様なAPIとの連携による災害対応時および平常時業務の効率化を目指します。（危機管理課）

## 10款 教育費

### ◆P44 歴史博物館特別展示事業 105万円

国の文化審議会による三雲・井原遺跡の国史跡指定への答申を受け、広く内外にアピールするため「伊都国の都」を感じさせる出土品を数多く展示する冬季特別展や遺跡を紹介した図録図書の発刊、出土場所を巡るスタンプラリー等を開催します。（文化課）

## 【公営企業会計】

### ◆重要給水施設配水管整備事業（1/4国庫補助） 1,860万円

災害時等における医療救援活動に支障が生じないよう、水道水配水管の耐震化整備を図り、水道水の安定供給を行うもので、笹山配水池から糸島医師会病院までの配水管の耐震化整備を行います。（水道課）

## 【継続費】

### ◆P6 新駅関連施設整備事業（自由通路及び駅舎等）（新規）

平成 29 年度～平成 30 年度 総額 14 億 3,460 万円

平成 31 年春に開業予定の新駅の事業費を、年度間調整等に対応するため債務負担行為から継続費に変更して確保します。 (都市計画課)

## 【債務負担行為】

### ◆P7 筑前深江駅周辺整備事業（自由通路及び駅舎等）（新規）

平成 30 年度 限度額 7,561 万 5 千円

平成 30 年度に完了予定の筑前深江駅周辺整備事業の平成 30 年度分の事業費を確保します。 (都市計画課)

### ◆P7 新駅関連施設整備事業（自由通路及び駅舎等）（廃止）

継続費で事業費を確保するため、債務負担行為を廃止します。 (都市計画課)

《問い合わせ先》

総務部 財政課 大神

電話 332-2102 (直通)

内線 1220



# 平成28年度糸島市の決算見込みの概要

## 1 一般会計及び特別会計の収支状況

全8会計とも黒字決算

(単位：千円)

区分	一般会計	住宅新築資金等貸付会計	国保会計	介護会計	後期高齢者医療会計	渡船会計	二丈福吉財産区	二丈一貴山財産区
歳入	39,177,305	19,731	15,334,569	8,097,628	1,200,983	56,095	656	7,554
歳出	37,385,451	15,388	14,902,041	7,865,578	1,167,317	56,094	384	7,007
差引	1,791,854	4,343	432,528	232,050	33,666	1	272	547
翌年度へ繰り越すべき財源	486,253							
実質収支額	1,305,601	4,343	432,528	232,050	33,666	1	272	547

## 2 主な会計の概要

□ 一般会計 **歳入** 391.8億円(+33.8億円) **歳出** 373.9億円(+31.9億円)

- 歳入、歳出とも合併後最高額。昨年度に比べ、歳入は9.4%、歳出は9.3%の増。
- これは財政調整基金から新設した公共施設等総合管理推進基金へ35億円を積み換えたため、この分を除くとH27年度決算(歳入358.0億円、歳出342.0億円)と概ね同規模。
- 実質収支は、前年度より2.1億円減少したが、13.1億円の黒字となった。

□ 国民健康保険事業特別会計

**歳入** 153.3億円(▲3.1億円) **歳出** 149.0億円(▲7.2億円)

- 歳出は前年度に比べ4.6%の減。実質収支は、前年度より4.1億円増加し、4.3億円の黒字となった。
- 保険給付費は86.8億円で、前年度に比べ4.2%減少。一般会計から3億円の法定外繰入れ。

□ 介護保険事業特別会計

**歳入** 81.0億円(+3.0億円) **歳出** 78.7億円(+2.9億円)

- 歳出は前年度に比べ3.9%の増。実質収支は、前年度より0.1億円増加し、2.3億円の黒字となった。
- 保険給付費は71.4億円で、前年度に比べ0.9%増加。

□ 後期高齢者医療特別会計

**歳入** 12.0億円(+0.5億円) **歳出** 11.7億円(+0.5億円)

- 歳出は、前年度に比べ4.1%の増。実質収支は、前年度より0.1億円増加し、0.3億円の黒字となった。
- 県後期高齢者医療広域連合への納付金は、11億円で前年度に比べ1.0%増加。

### 3 普通会計決算の概要 (普通会計＝一般会計＋住宅特会)

#### (1) 決算総額 **歳入・歳出とも合併後最高額**

歳入総額 391 億 9,704 万円 (33 億 6,537 万円、9.4%の増加)

歳出総額 374 億 0,084 万円 (31 億 7,158 万円、9.3%の増加)

##### ◇増減の要因

【歳入】繰入金 (+36 億 7,712 万円)、市税 (+3 億 4,460 万円)、繰越金 (+2 億 1,097 万円)

県支出金 (+1 億 2,371 万円)、寄附金 (+7,445 万円)

地方交付税 (▲3 億 6,124 万円)、地方消費税交付金 (▲1 億 7,654 万円)

国庫支出金 (▲1 億 7,187 万円)、財産収入 (▲1 億 4,478 万円)、

【歳出】積立金 (+33 億 1,602 万円)、扶助費 (+2 億 3,397 万円)、補助費等 (+2 億 411 万円)

繰出金 (▲2 億 4,296 万円)、公債費 (▲1 億 8,150 万円)、投資的経費 (▲1 億 740 万円)

#### (2) 歳入 **市税は 3.8%増、徴収率は 99.6%で最高値を更新**

歳入は、財政調整基金からの繰入れや市税が増加したこと等により前年度より 33 億 6,537 万円 (+9.4%) と大幅に増加しましたが、地方交付税や地方消費税交付金等は減少しました。

##### (1) 地方税

市税は、93 億 677 万円で前年度比 3 億 4,460 万円 (+3.8%) の増で、主な増収要因は、給与所得や農業所得の増加により市民税の増、総務大臣配分 (償却資産) や新築家屋の増による固定資産税の増、税率改正に伴う軽自動車税の増等です。

現年度分の徴収率は、99.6%と前年度に比べ 0.1 ポイント上昇し、前年度に続き最高値を更新しました。

##### (2) 地方交付税

合併算定替えの特例が段階的に縮減されており、平成 28 年度の交付額は 84 億 343 万円で前年度比 3 億 6,124 万円 (▲4.1%) の減となっています。

##### (3) 各種交付金

景気の低迷などにより、地方消費税交付金 (▲10.5%) や利子割交付金 (▲49.1%)、株式等譲渡所得割交付金 (▲58.1%) 等各種交付金が大幅に減額となっています。

##### (4) 地方債

市債の発行額は 27 億 5,109 万円で、その内臨時財政対策債が 2 億 5,372 万円 (▲19.9%) 減少したことにより 5.0%の減となりました。臨時財政対策債を除く市債発行額は 17 億 3,230 万円で前年度比 6.8%の増となっています。

##### (5) その他

今後公共施設等のマネジメントを進めるために新設する公共施設等総合管理推進基金の財源を確保するため、財政調整基金から 35 億円を一般会計に繰り入れました。

<歳入の状況>

(単位：千円、%)

区 分	平 成 2 7 年 度			平 成 2 8 年 度		
	決算額	構成比	対前年度 増減率	決算額	構成比	対前年度 増減率
○ 地 方 税	8,962,170	25.0	△ 0.9	9,306,767	23.7	3.8
地方譲与税	346,870	1.0	4.7	343,471	0.9	△ 1.0
利子割交付金	19,034	0.1	△ 15.8	9,685		△ 49.1
配当割交付金	53,804	0.1	△ 25.0	31,620	0.1	△ 41.2
株式等譲渡所得割交付金	50,055	0.1	25.2	20,992	0.1	△ 58.1
地方消費税交付金	1,682,123	4.7	78.6	1,505,588	3.8	△ 10.5
ゴルフ場利用税交付金	88,631	0.2	2.7	83,661	0.2	△ 5.6
自動車取得税交付金	78,620	0.2	50.0	91,427	0.2	16.3
地方特例交付金	51,042	0.1	6.0	55,025	0.1	7.8
地方交付税	8,764,675	24.5	△ 6.2	8,403,433	21.4	△ 4.1
交通安全対策特別交付金	18,987	0.1	12.2	18,876	0.1	△ 0.6
○ 分担金及び負担金	604,448	1.7	5.5	522,485	1.3	△ 13.6
○ 使 用 料	208,203	0.6	△ 13.3	221,757	0.6	6.5
○ 手 数 料	281,905	0.8	11.7	284,316	0.7	0.9
国庫支出金	6,383,507	17.8	6.4	6,211,641	15.9	△ 2.7
県支出金	3,145,142	8.8	11.4	3,268,855	8.3	3.9
○ 財 産 収 入	185,950	0.5	163.9	41,173	0.1	△ 77.9
○ 寄 附 金	109,629	0.3	997.7	184,078	0.5	67.9
○ 繰 入 金	34,449	0.1	△ 44.8	3,711,567	9.5	10674.1
○ 繰 越 金	1,391,428	3.9	0.5	1,602,401	4.1	15.2
○ 諸 収 入	475,973	1.3	△ 3.9	527,123	1.4	10.7
地 方 債	2,895,016	8.1	△ 1.5	2,751,094	7.0	△ 5.0
うち臨時財政対策債	1,272,516	3.6	△ 14.4	1,018,794	2.6	△ 19.9
合 計	35,831,661	100.0	2.8	39,197,035	100.0	9.4
○ 自 主 財 源	12,254,155	34.2	1.0	16,401,667	41.9	33.8
依 存 財 源	23,577,506	65.8	3.8	22,795,368	58.1	△ 3.3

□ 自主財源比率の状況

(単位：%)

	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度
糸 島 市	37.3	34.8	34.8	34.2	41.9
県内26市平均	38.9	37.8	38.7	36.2	—

\* 県内 26 市；政令市を除く

### (3)歳出 義務的経費は4年連続で減、扶助費は2.6%増

歳出では、財政調整基金から一般会計に繰入れした財源を、新設した公共施設等総合管理推進基金に35億円を積み換えたことにより、前年度より31億7,158万円(+9.3%)の増となっています。

#### (1) 義務的経費

扶助費が2.6%増の93億5,254万円となりましたが、職員給が約6割を占める人件費は前年度比1.7%減の51億2,445万円、起債返済にあてる公債費は6.0%減の28億6,121万円となり、これら義務的経費の合計が173億3,819万円と前年度を0.2%、4年連続で下回りました。

#### (2) 投資的経費

投資的経費は、ごみ焼却処理施設や駅、消防施設等生活関連施設の整備を行い43億1,445万円となりましたが、前年度比1億740万円、2.4%の減となりました。

#### (3) その他の経費

国民健康保険や介護保険、後期高齢者医療等への繰出金等は前年度比5.7%減の39億9,306万円、上下水道事業への繰出金や各種団体への補助金などの補助費等は8.2%増の27億387万円となっています。

#### <歳出の状況:性質別>

(単位:千円、%)

区 分	平成27年度			平成28年度		
	決算額	構成比	対前年度増減率	決算額	構成比	対前年度増減率
1. 人 件 費	5,212,283	15.2	0.3	5,124,446	13.7	△ 1.7
うち職員給	3,162,134	9.2	0.1	3,149,396	8.4	△ 0.4
2. 扶 助 費	9,118,573	26.7	4.2	9,352,538	25.0	2.6
3. 公 債 費	3,042,703	8.9	△ 20.8	2,861,206	7.7	△ 6.0
内元利償還金	3,042,703	8.9	△ 20.8	2,861,206	7.7	△ 6.0
訳一時借入金利子		0.0	0.0		0.0	0.0
1～3義務的経費小計	17,373,559	50.8	△ 2.3	17,338,190	46.4	△ 0.2
4. 物 件 費	4,484,809	13.1	3.4	4,524,996	12.1	0.9
5. 維 持 補 修 費	183,956	0.5	△ 0.1	186,752	0.5	1.5
6. 補 助 費 等	2,499,769	7.3	3.9	2,703,874	7.2	8.2
うち一部事務組合負担金	5,898		△ 5.3	6,067	0.0	2.9
7. 積 立 金	927,067	2.7	△ 1.9	4,243,083	11.3	357.7
8. 投資及び出資金・貸付金	102,230	0.3	△ 0.7	96,432	0.3	△ 5.7
9. 繰 出 金	4,236,019	12.4	22.1	3,993,061	10.7	△ 5.7
10. 前年度繰上充当金						
4～10小計	12,433,850	36.3	8.6	15,748,198	42.1	26.7
11. 投 資 的 経 費	4,421,851	12.9	4.8	4,314,451	11.5	△ 2.4
内						
うち人件費	92,301	0.3	47.2	88,283	0.2	△ 4.4
普通建設事業費	4,330,882	12.6	4.0	4,285,259	11.4	△ 1.1
うち単独事業費	1,682,410	4.9	30.5	2,137,251	5.7	27.0
訳						
災害復旧事業費	90,969	0.3	64.0	29,192	0.1	△ 67.9
失業対策事業費						
歳 出 合 計	34,229,260	100.0	2.3	37,400,839	100.0	9.3

□ 義務的経費の状況

(単位：%)

	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度
糸島市	58.3	55.2	53.2	50.8	46.4
県内市町村平均	49.0	47.1	47.3	46.5	—

\* 県内市町村は政令市を除く

(4) 積立金現在高

公共施設等総合管理推進基金を新たに設置

- (1) 普通会計の基金現在高総額は、91 億 1,144 万円で前年度から 5 億 3,172 万円増加しました。
- (2) 今後、公共施設やインフラ施設等が老朽化し更新時期を迎えることから、これら整備に必要な資金を確保するため、新たに公共施設等総合管理推進基金を設け、財政調整基金から 35 億円を積み換えました。
- (3) 財政調整基金は、積み換えの結果、前年度比 30 億 6,552 万円減の 50 億 1,410 万円となりました。

□ 積立金現在高の状況

(単位：億円)

	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度
糸島市(普通会計)	62.5	67.8	76.6	85.6	91.1
うち財政調整基金	58.0	64.4	73.2	80.8	50.1
県内26市平均	95.7	101.5	102.1	105.2	—
うち財政調整基金	38.7	41.1	43.7	44.7	—

(5) 地方債現在高

普通会計の地方債残高は微増、全会計の残高は減少

- (1) 普通会計の地方債現在高は 296 億 8,270 万円で、前年度末に比べ 1 億 5,920 万円増加しました。その内、臨時財政対策債現在高は 150 億 472 万円で、普通会計地方債現在高の 50.6%を占めています。
- (2) 全会計の残高は 504 億 6,434 万円で前年度より 5 億 300 万円減少しています。

□ 地方債現在高の状況

(単位：億円)

		H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度
糸島市	全会計	541.6	521.3	511.3	509.7	504.6
	普通会計	313.7	299.0	293.6	295.2	296.8
県内26市平均 普通会計		272.7	274.3	278.3	287.4	—

\* 全会計：一般会計＋特別会計＋企業会計

## 4 主な財政指標

### 実質公債費比率、将来負担比率ともに改善

経常的な社会保障関係費の増加、臨時財政対策債の減少などにより、財政構造の硬直度を示す経常収支比率は86.0%と1.6ポイント悪化しましたが、県内26市（政令市除く）平均より弾力性がある数値となっています。

また、収入に対する債務返済の割合を示す実質公債費比率は、市債の元利償還額が減少したことなどから6.2%と前年度より2.9ポイント改善し、収入に対する将来にわたって負担すべき債務等の割合を示す将来負担比率も、地方債残高の減少等により17.3%と前年度より12.9ポイントと改善し、いずれも合併後6年連続改善し、地方公共団体の財政の健全化に関する法律で定める基準内の数値となっています。

#### □ 経常収支比率（普通会計） 1.6ポイント悪化

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
糸島市(%)	88.9	87.4	85.8	84.4	86.0
県内26市平均	90.0	89.7	91.7	90.3	92.7

\* 県内26市；政令市を除く（H28年度の数値は速報値）

#### □ 実質公債費比率（一般＋特会＋企業会＋水道企業団） 2.9ポイント改善（6年連続改善）

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
糸島市(%)	15.9	14.8	12.1	9.1	6.2
県内26市平均	9.8	8.9	7.8	7.1	—

\* 早期健全化基準（イエローライン）25.0%、財政再生基準（レッドライン）35.0%

#### □ 将来負担比率（一般＋特会＋企業会＋水道企＋土地開発公） 12.9ポイント改善（6年連続改善）

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
糸島市(%)	76.8	59.5	42.8	30.2	17.3
県内26市平均	36.4	30.8	28.0	23.2	—

\* 早期健全化基準（イエローライン）350.0%

## 5 H28年度に実施した主な事業

### (1) ソフト事業

○病児・病後児保育事業 ○子ども医療費助成事業 ○校区ごとの健康づくり事業 ○定住コーディネート事業 ○ふるさとテレワーク推進事業 ○新規就農支援事業 ○松林保全アダプト事業 ○中学校少人数学級推進事業 ○英語教育充実事業 ○国宝の里づくり事業 ○安定ヨウ素剤備蓄事業

### (2) ハード事業

○野北漁港整備事業 ○筑前深江駅周辺整備事業 ○防災行政無線デジタル方式移行事業 ○波多江小学校給食室改築事業 ○救助工作車整備事業 ○新駅関連施設整備事業 ○再生可能エネルギー導入推進事業 ○ごみ焼却施設中間改修事業

## フレイル予防について九州大学と共同研究を実施

平成29年度から平成32年度までの4年間、九州大学と連携し、フレイル予防体制の構築を目的とした調査及び介入研究を実施します。この研究により、市民が活用できるフレイル予防モデルをつくり、全国に先駆けた介護予防事業の展開を目指します。

※フレイルとは、「加齢に伴い心身の活力が低下した状態」を言います。改善の取り組みを行わなければ、介護が必要な状態に陥る危険性が高いため、早期発見と早期対応が重要です。歩行速度や握力等の身体機能の低下や体重減少等の確認が、フレイルの早期発見のポイントとされています。

### ○研究目的

- (1) フレイル予防に係る普及啓発
- (2) フレイル予防に係る簡易スクリーニング方法の研究開発
- (3) フレイル予防・改善に関する運動プログラム等の研究開発

### ○対象者：糸島市に居住する66～76歳の人（要介護認定を受けている人を除く）

※「平成28年度高齢者の生活状況・健康状態調査」の回答者の中から無作為抽出した5,000人に質問票及びフレイルに係る測定会のご案内を郵送し、回答のあった人（3,000人程度）

### ○予算：10,000千円/年度 ※地方創生推進交付金（先駆タイプ）を活用

### ○平成29年度健康情報データベース調査実施内容

- (1) 質問票による調査（8月1日から順次対象者へ郵送）
- (2) フレイルに係る測定会

平成29年9月健康福祉センター「ふれあい」、10月高齢者福祉施設「二丈苑」、  
10～12月健康福祉センター「あごら」で実施

- ①体力測定（握力、歩行速度等の測定）
  - ②認知機能チェック
  - ③骨格筋量測定
  - ④活動量測定（活動量計を用いた調査）
- (3) 結果説明会（平成30年3月に実施）
    - ①フレイルに係る講話
    - ②個人結果表の受け渡し
    - ③結果に関する個別相談（必要に応じ実施）

○研究内容に係る問い合わせ：九州大学基幹研究院 キャンパスライフ・健康支援センター  
電話 092-583-7853

### 【問い合わせ先】

健康増進部 介護・高齢者支援課（担当：島田・小林）  
電話 092-332-2070（直通）

# 平成29～32年度 九州大学との共同研究の概要

## 基本コンセプト

フレイル予防体制の構築を目的とした調査及び介入研究の実施

⇒ 医療・介護の専門職だけでなく、市民が活用できる予防モデルをつくる

## 事業イメージ

(平成29年度)

フレイルの概念及び

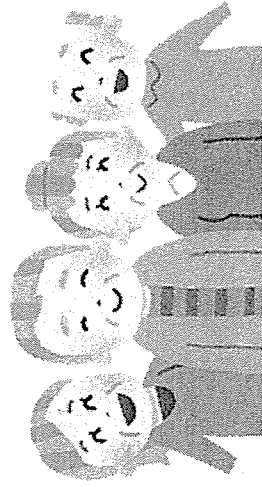
重要性の啓発

スクリーニング手法の

研究・開発

糸島市民3,000人を対象

とした調査を実施。



(平成30～31年度)

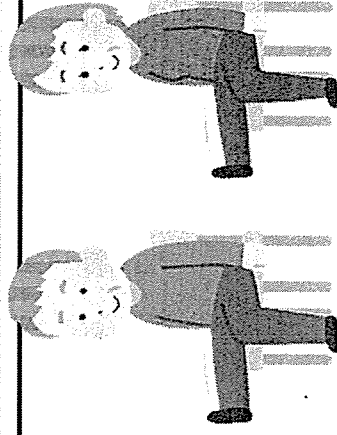
効果的・効率的な介入・

支援のあり方を検討

希望者に対して運動指導等

を行い、スクリーニング手法

を含めた検証を行う。



(平成32年度)

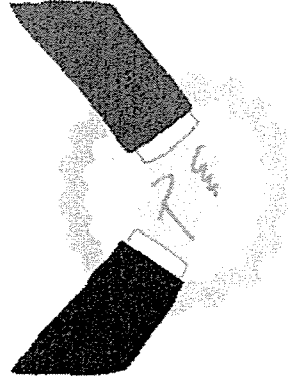
産学官協働による

フレイル予防の推進

市民、医療・介護職、

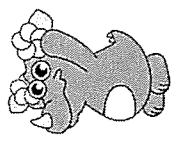
大学、民間事業者等の

協働で推進する。





# ～糸島市におけるフレイル評価に基づく健康支援事業の概要とフレイル～ (IFS:Itoshima Frail Study)



©2013糸島市いとゴン#

**背景**

**高齢者対策の必要性**

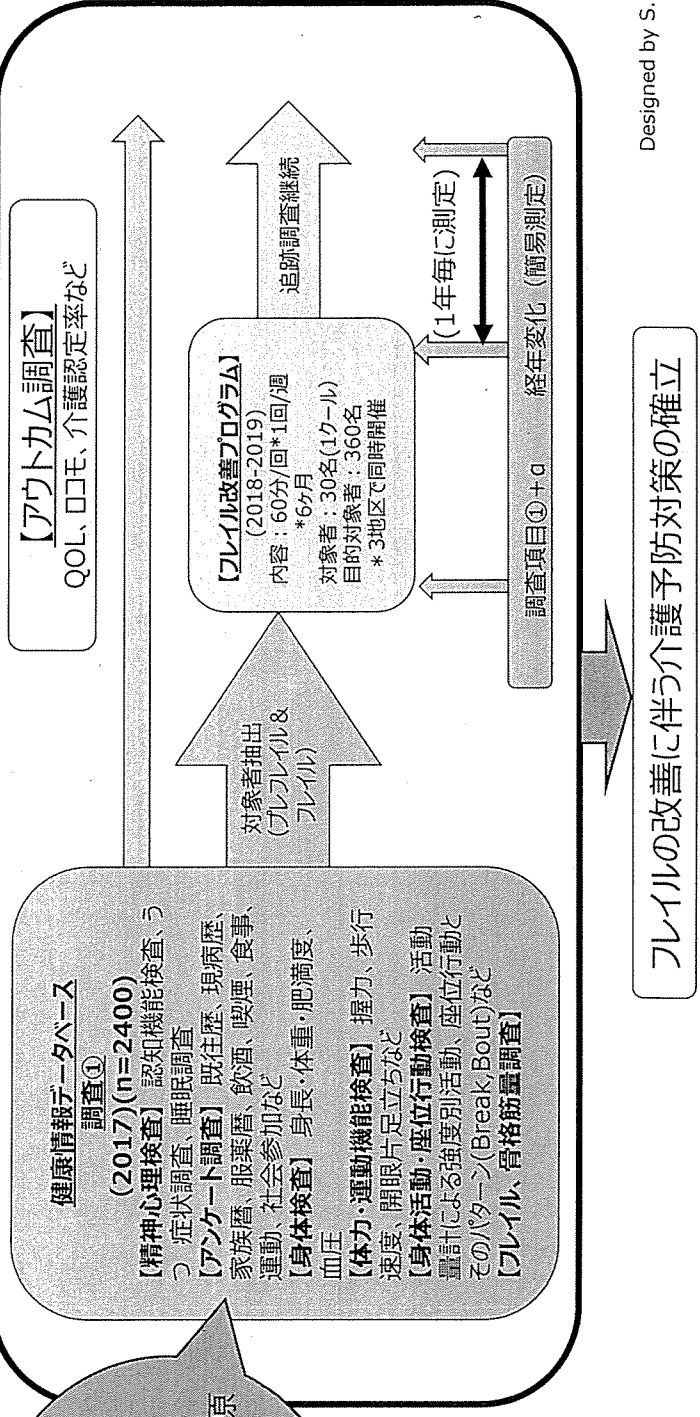
- ・超高齢社会の到来(高齢化率25%)
- ・認知症患者の増加(高齢人口の15～18%)
- ・フレイルの急増(平均10%、加齢に伴い増加)

要介護認定者数の増加(13年間で約2.6倍)

**高齢者対策の有用性**

- ・身体的フレイルは、認知機能低下・認知症発症とも関連
- ・フレイルは運動介入などにより予防・可逆的に改善可能
- ・介護認定状況の増加抑制(高齢者介護費用の適正化) 地域密着型の介護予防事業の展開

対象：65～75歳  
 実施時期：平成29年 9～12月  
 地区：二丈、志摩、前原



Designed by S.Kumagai(2017)

\* 公民館レベルでの事業展開

九州大学健康・運動疫学研究室(2017)

## ママの力をテレワークで活かす！ 「ママライター育成講座」開講

### 《概要》

情報発信技術を使い、時間や場所にとらわれない柔軟な働き方として、市では「テレワーク」を推進しています。

今回、テレワークで働くテレワーカー養成の一貫として、働きたいお母さん達のしごと作りに繋がる「ママライター育成講座」を開催します。

この講座は、ボランティアライターではなく、プロのライターを育成するもので、事前に応募説明会を実施し、書類審査で受講者の選考を行いました。

全7回の講座では、各分野の専門家が講師を務め、受講者には、講座や課題を通じて、取材のスキルや正確な文章作成、写真等の仕事に繋がる技術を学んでいただきます。

講座の卒業制作として、「広報いとしま」のコラムや「糸島市子育て世代応援サイト いとネット」への原稿執筆を予定しています。

開講式	9月6日(水曜日) 10時から10時30分
受講者	10名
開催場所	前原テレワークセンター ママトコワーキングスペース (糸島市前原中央2丁目13-17)
講座内容	別紙資料のとおり



応募説明会の様子(7/13)

### 《これまでのテレワーク推進の経緯》

H27：ふるさとテレワーク推進事業による地域実証事業（委託事業）で、芥屋と前原にテレワークセンターを設置し、地域実証実験を行った。

H28：テレワークの拠点を整備する際の導入費用の一部を国が補助する事業で、前原テレワークセンターのセキュリティ整備、サテライトオフィスの設置工事を行った。同年度、地方創生推進交付金（総務省）のテレワーク推進事業で、テレワークでの働き方を学ぶ、「仕事に繋がるテレワークスキルアップ講座（全4回）」を実施。

#### 【問い合わせ先】

企画部 地域振興課 市民協働係  
担当：荻原  
TEL：323-1111（内線1321）  
332-2062（直通）

事前説明会・講座一覧

	開催日	時間(予定)	講師	内容
		9時45分		受付開始
		10時から10時30分		開講式
		10時30分～11時	糸島市役所 広報いとしま担当者	講義「糸島市の情報発信について知る！」
第1回	9月6日(水曜日)	11時10分～	高山美佳氏(株)Local&Design 代表取締役 久留米市田主丸町の巨峰農家へと嫁ぎ、「筑後子どもキャンパス」「久留米まち旅博覧会」など主に筑後地域のデザインを数多く手掛ける。	講義「子どもが誇りに思えるような地域プランニング」 (公開講座:定員25名)
		12時20分～		屋食交流会
第2回	9月13日(水曜日)	10時から12時30分	加茂川雅仁氏 (西日本新聞社 編集委員、西日本新聞メディアラボ デジタル編集長)	講義と実践「ライティング基礎講座」「取材の基本姿勢」
第3回	9月27日(水曜日)	10時から12時30分	渡邊精二氏(フリーカメラマン、元・新聞社記者) 読売新聞、共同通信で通算12年記者を務め、2011年から糸島市を拠点に写真家兼ライターとして活動中。JA糸島広報紙「〇糸(まるいと)」の表紙の写真を手がける。	講義と実践「写真の撮り方」
第4回	10月4日(水曜日)	10時から14時	原口弘美氏(マイタウン伊都 編集長)	1)ワークショップ「みんなの写真を見てみよう！」 2)講義と実践「取材の準備をして、取材に出かけよう！」
第5回	10月18日(水曜日)	10時から12時30分	糸島市役所 広報いとしま担当者 加茂川雅仁氏 (西日本新聞社 編集委員、西日本新聞メディアラボ デジタル編集長)	「卒業制作について」 講義と実践「媒体ごとの記事の書き分け方」
第6回	11月8日(水曜日)	10時から12時30分	講師:尾崎恭子(糸島女性支援プロジェクト・ママトコ部長、フリーライター)	ワークショップ「みんなの記事や写真を見比べてみよう!」「卒業制作について」
第7回	12月13日(水曜日)	10時から12時30分		閉講式、屋食交流会

※平成30年3月に成果報告会を予定。

## 平成29年度ママライタースタートアップ事業

### 「ママライター育成講座」のポイント

#### 1 プロのライターを育成する

⇒受講者には、糸島女性支援プロジェクト・ママトコ部でチームでお互いに協力しながら仕事を受注したり、プロライターとして個人で独立してもらうことを視野に入れている。

⇒ボランティアライターではなく、プロライターを育成する取り組みは、全国でも類を見ない。

#### 2 応募説明会を実施

⇒事前に応募説明会を実施し、講座の開催主旨を説明。お母さん達の本気度をはかる。

#### 3 受講者は選考で決定

⇒受講者は先着順ではなく、事前の応募説明会に参加した人で応募用紙を提出した人の中から、書類審査で選考を行った。

#### 4 講座受講中の託児が可能

⇒子ども1人につき1回300円で託児の手配あり。

⇒お母さん達が、子どもの近くに居ながら講座を受講することができる。また、子育てについて、他のお母さんと情報交換や交流ができる。

#### 5 教材代、取材費は実費

⇒教材代や取材に係る費用（交通費、飲食代等）は、受講者の実費となるため、受講者の本気度をはかることができる。

#### 【応募状況】

○8月5日応募締切、23人応募

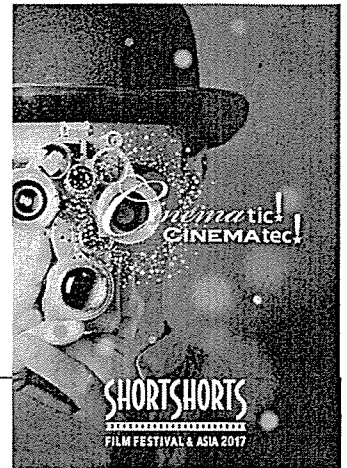
○受講決定者10名

○資料代：1人7,000円、託児（1人/1回300円）

## ショートショートフィルムフェスティバル&アジア in 福岡が糸島で開催！

### 概要

本年度ショートショートフィルムフェスティバル&アジアが福岡初上陸。  
サテライト会場として糸島市、宗像市、大川市、久山町、福岡市が各地の特色を活かした映画祭を同時開催します。  
カンヌ、アカデミー、キッズ、CG アニメ、ジャパンショート、受賞プログラム作品など、**他では見られない世界の短編映画を糸島で見ることができます。**



ショートショートフィルムフェスティバル&アジアとは

1999年、ショートフィルムを日本に普及するため、俳優の別所哲也さんが東京・原宿で短編映画祭を開始。2004年には米国アカデミー賞公認映画祭として認定され、今年も世界から9300以上の作品が応募されました。毎年グランプリ作品がアカデミー賞にノミネートされ、新しい映像文化の発信、世界に羽ばたく若手映像作家の育成にも貢献しています。

### 糸島会場の開催内容

糸島会場では、糸島映画祭実行委員会が趣向を凝らし、2週連続で開催。楽しいまち、美しい自然を生かした糸島ならではのショートフィルム映画祭を開催します。

#### ■日時・場所

○9月16日(土曜日)11時から21時 前原商店街

異なるコンセプトを持つ、6つの「ミニ映画館」が前原商店街に出現！飲食の出店もたくさん！食事を楽しみながら映画を鑑賞できます。

**SHORTSHORTS**  
FILM FESTIVAL & ASIA 2017

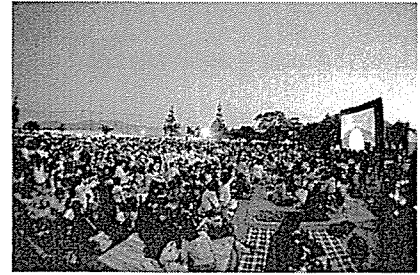
場所	席数	回数	時間	映画
サウンド前原	30	3	14:30～、16:30～、19:00～	アカデミー
寄り合い処	30	3	13:00～、16:00～、19:00～	ラブロマンス
糸島ラーメンゆうゆう	20	2	11:30～、16:00～	ジャパン
めいてん	20	3	14:30～、17:30～、19:30～	CGアニメ
角屋1階	30	2	13:00～、16:00～	受賞A
味処みかさ横テナント	30	3	11:30～、14:30～、17:30～	受賞B

※各会場1回の上映時間は、おおむね1時間から1時間30分です。

〇9月23日(土曜日)17時から22時 志摩中央公園

※雨天の場合、翌24日に延期し、24日も雨天の場合は可也公民館で開催。

9月23日には、5月に大好評だった「いとシネマ」スタイルで屋外上映！地域の人気飲食店の食とともに、寝袋やキャンプ用椅子など自由なスタイルで鑑賞。糸島の美しい星空の下、巨大スクリーンでのんびり映画を楽しめます。



場所	時間	映画
志摩中央公園	19:00~20:00	キッズ
	20:00~21:30	カンヌ

■鑑賞料 無料

■主催 糸島映画祭実行委員会(糸島市共催)



野北 佳奈さん

ワクワク、ドキドキの短編映画をいっぱい観ましょう♪

下田 栄一さん

星降る伊都の映画館。星空と星空の下で開催です!!

福島 良治さん

アジア最大級の祭典をみんなで楽しみましょう!

後原 宏行さん

9,000本の中から選ばれた珠玉の作品をぜひ楽しんでください。

長田 秀樹さん

映画好きなら、映画見ている場合じゃないですよ。

野北 智之さん

ないものは作ればいい。映画館のない糸島で自由に映画を楽しみましょう!

## その他

■問い合わせ

○糸島会場イベントに関すること

糸島映画祭実行委員会 電話 070-6468-2940 (福島)

Eメール [contact@itocinema.com](mailto:contact@itocinema.com)

○ショートショートフィルムフェスティバル&アジア 2017 in 福岡に関すること

(一社) 地域企業連合会 九州連携機構 電話 092-451-8610

■情報は以下で随時更新され、閲覧できます。

糸島市ホームページ

<http://www.city.itoshima.lg.jp/s007/030/2/01/20170721091709.html>

ショートショートフィルムフェスティバル&アジア 2017 in 福岡ホームページ

<http://www.aie-kyushu.com/shortshorts/>

【問い合わせ先】

企画部 秘書広報課 ブランド推進係 担当：岡、藤森  
TEL：332-2079 (直通)

## 糸島市会場上演スケジュール

◆9月16日(土)

会場	上映プログラム	作品名	席数	上映開始時間
角屋1F	受賞プログラム A (5作品:約90分)	・東京音°C(日本) ・宝池に寄り道を(日本) ・ゲット・アップ キンシャサ!(フランス, コンゴ) ・森を守るものたち(アメリカ) ・born, bone, boon.(日本)	30	①13:00 ②16:00
糸島ラーメンゆうゆう	ジャパンショート特集 (6作品:約60分)	・轟満の先入観(日本) ・一粒の麦(日本) ・Home Away From Home(日本) ・パカリアン(日本) ・HANA(日本) ・しゃぶしゃぶスピリット(日本)	20	①11:30 ②16:00
サウンド前原	アカデミー賞プログラム (4作品:約90分)	・同胞の敵(フランス) ・彼女とTGV(スイス) ・与えられた時間(アメリカ) ・合唱(ハンガリー)	30	①14:30 ②16:30 ③19:00
味処みかさ横テナント	受賞プログラム B (6作品:約90分)	・巨人のならわし(ブラジル) ・サイレン(日本) ・水を、ください(南アフリカ) ・シュガー & スパイス(ミャンマー) ・偉大なる遺産(韓国) ・窓から見える世界(ニュージーランド)	30	①11:30 ②14:30 ③17:30
寄り合い処	ラブロマンスプログラム (8作品:約90分)	・ハッピーマーケット(イタリア) ・5分間のラブストーリー(ドイツ) ・オンリーユー(フランス) ・うわの空で(アルゼンチン) ・壁の花(ドイツ) ・エミリー(イギリス) ・アメリカとドウアルテ(ポルトガル) ・マンゴーライス(アメリカ)	30	①13:00 ②16:00 ③19:00
めいてん	CGアニメーションプログラム (11作品:約90分)	・ウォーターカラーズ(日本) ・さすらい(スペイン, ドイツ, フランス) ・秋(フランス) ・スジドウ(日本) ・Adam(デンマーク) ・ご苦労さま(フランス) ・グリーン・ライト(韓国) ・素晴らしきかな、自然! -カメレオン編(ドイツ) ・ミシマサイコ(フランス) シャイン(ドイツ) ・リラクサトロン5000(イギリス)	20	①14:30 ②17:30 ③19:30

◆9月23日(土)

会場	上映プログラム	作品名	席数	上映開始時間
志摩中央公園	キッズプログラム (10作品:約60分)	・THE GIFT(日本) ・ダム! ~ちびっ子ビーバーの物語~(カナダ) ・ミニ人間の冒険(ドイツ) ・インデックス 50(フランス) ・僕のしっぽ(ドイツ) ・老人の教え(フランス) ・ロックンロール(オランダ) ・クモの巣(ロシア) ・木のカケラ(南アフリカ) ・宇宙から来たともだち(フランス)	-	19:00
	カンヌプログラム (5作品:約70分)	・4時15分 世界の終わり(ルーマニア) ・ビジネス(アルゼンチン) ・サイレンス(イタリア, フランス) ・好きにしな(ボスニア・ヘルツェゴビナ, メキシコ)	-	20:00